

令和6年度用 小学校 図画工作 教科書 年間指導計画例

1. 題材配列の基本的な考え方

教科書の各学年における題材は、発達の段階に応じて実践に適切な季節及び行事との関係、内容（造形遊び、絵、立体、工作、鑑賞）や学習指導要領で扱われる材料・用具によって系統的に構成され、カリキュラム順に配列されています。また、学習指導要領で「教科の目標」として示されている三つの資質・能力（「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」）をバランスよく育てられるように6年間を通して考えられています。

2. 3学期制、2学期制のカリキュラムについて

1で述べたように、教科書の題材配列はカリキュラム順を意識していますので、基本的にはページの順番に学習することが可能です。したがって、各学年の年間指導計画例では、教科書のページ順に示しています。しかし、たとえば、学校行事などに合わせる場合や、学期をまたがないように題材を終了させたい場合などは適宜学習の順番を入れ替えて使用することを推奨します。また、いくつかの題材は選択題材の扱いとしています。児童の興味や関心、活動のペースやリズムを大切に、各学校や児童の実態に合わせて、自由に選択したり、計画を修正したりしてご活用ください。なお、本指導計画においては、1単位時間を45分として扱っています。

3. 凡例

活動の内容は以下のように示しました。なお、表現と鑑賞は一体的に扱われるものであるため、表現題材の中での鑑賞活動や、鑑賞と一体的に扱われる表現活動などは、共通的に理解されているものとして、煩雑になるのを避けてあえて記さず、その題材での中心的な内容のみを示しています。

〔遊〕 = 造形遊びをする活動

〔絵〕 = 絵に表す活動 / 〔絵・版〕 = 版に表す活動

〔立〕 = 立体に表す活動

〔工〕 = 工作に表す活動

〔鑑〕 = 鑑賞する活動

また、育てたい三つの資質・能力はすべての題材でかかわってきますが、その題材で特に大切にしたい目標を表しています。

● = 「形や色、方法や材料を知って、工夫する力」

● = 「ためしたり、見つけたりして、考えたり、思いついたりする力」

● = 「心を開いて楽しく活動し、友達とかかわり、協力し合う力」

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性がございます。予めご了承ください。

■第4学年の年間指導計画（案）（年間授業時間数60時間）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60	3学期制 2学期制	2学期制	時数	題材名	内容	学習指導要領との関連							
						A表現(1)		A表現(2)		B鑑賞(1)		〔共通事項〕	
						ア	イ	ア	イ	ア	ア	イ	
			2	●いろいろな絵の具研究所	[絵]		○		○		○	○	
			2	●はる はる はる絵	[絵]		○		○		○	○	
			4	●紙バックでバックパク	[工]		○		○		○	○	
			2	●むすんで つないで	[遊]	○		○			○	○	
			4	●木々を見つめて	[絵]		○		○		○	○	
			2	●自然の色 どんな色	[鑑]					○	○	○	
			4	●つないで組んで すてきな形	[工]		○		○		○	○	
			2	●お気に入りの形	[立]		○		○		○	○	
			4	●ちかごろむちゅうです	[絵]		○		○		○	○	
			4	●小さくなって遊びにいこう	[絵]		○		○		○	○	
			4	●どろどろカッチン	[立]		○		○		○	○	
			4	●直線と曲線から生まれる形	[立]		○		○		○	○	
			2	●わくわくランドで遊ぼう	[遊]	○		○			○	○	
			4	●学校もりあげますコット	[工]		○		○		○	○	
			4	●本を開くとお気に入りの場面	[工]		○		○		○	○	
			4	●飛び出すハッピーカード	[工]		○		○		○	○	
			4	●ほった線からはじまるお話	[絵・版]		○		○		○	○	
			2	●紙の箱だいへんしん	[工]		○		○		○	○	
			4	●へんてこ山の物語	[絵]		○		○		○	○	
			4	●カクカク板を組み合わせたら	[工]		○		○		○	○	
			2	●みんなでたのしい だんボールランド	[遊]	○		○			○	○	
			4	●ゆめいろランプ	[工]		○		○		○	○	

はどちらかの題材を選択する扱いです。

第4学年の年間授業時間数	60
絵や立体に表す活動に配当する時間数	26
工作に表す活動に配当する時間数	26
その他の活動（造形遊び、鑑賞）に配当する時間数	8

題材ごとの観点別評価規準

1. 観点別評価規準の基本的な考え方

本資料には、令和6年度版「図画工作」での年間指導計画作成の際に必要な題材ごとの評価規準を記載しています。評価規準は、児童が題材の学習を通して身につける資質・能力の状況を題材ごとに学習内容に基づいて表したものです。地域や児童・学校の実情に応じて評価・評定にお役立てください。

平成29年の学習指導要領改訂に関わって、評価の観点が3観点に整理されました。本資料においては、「観点別評価規準」とあわせて先生方の利便性を考慮し、あくまで一例ではありますが、「十分満足できると考えられる具体的な姿の例」を掲載しました。

教科書においては、題材ごとの目標を児童に向けて「学習のめあて」として示し、中心となる課題を「特に大切なめあて」として強調して示しています。本資料においても「☆」マークで強調して示し、「特に大切なめあて」として強調して示した項目に関連して作成しています。

2. 凡例

本資料において、「学習のめあて」を以下の項目で示しました。

知：「知識及び技能」に関する目標

思：「思考力、判断力、表現力等」に関する目標

学：「学びに向かう力、人間性等」に関する目標

また、「観点別評価規準」を以下の項目で示しました。

知：知識の観点

技：技能の観点

発：発想・構想の観点

鑑：鑑賞の観点

主：主体的に学習に取り組む態度の観点

なお、本資料においては、1単位時間を45分として扱っています。

■第4学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性があります。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具	
いろいろ絵の具研究所	絵	2	身近なものを使って絵の具遊びをして、絵に表す。	知 絵の具のいろいろな表し方を工夫する。	知 身のまわりのものを使って絵の具遊びをしながら、作り出した形や色などの感じがわかっている。	絵の具遊びに関心を持ち、身のまわりのいろいろな用具を使って、絵の具でできることに気づいたり、思いがけない形や色をつくりだす学習活動に進んで取り組もうとしている。	絵の具、画用紙、歯ブラシ、ビー玉、ストロー、ぼかし網、段ボールなど	
				技 身のまわりのものを工夫して使ったり、思いついた絵の具の使い方を試したりして、表し方を工夫して表している。	技			
				思 絵の具の新しい使い方から表したいことを考える。	発 思いがけない形や色などの感じや面白さからイメージを広げ、絵の具の新しい使い方を見つけ、どのように表すか考えている。			鑑 造形的なよさや面白さ、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				☆学 思いがけない形や色の美しさをたのしむ。	主 いろいろな用具を使って絵の具でできることに気づいたり、思いがけない形や色をつくりだす学習活動に進んで取り組もうとしている。			
はる はる はる絵	絵	2	折り紙、包装紙、布などを切って貼りながら、思いついたことを絵に表す。	☆知 材料の特徴を生かして、組み合わせを工夫する。	知 紙や布などを切ったり重ねたりすることから、形や色などの感じがわかっている。	紙や布などを切ったり重ねたりすることから、形や色や質感などの感じが十分わかるとともに、切る形や組み合わせ方、配置や構成などをよく考えて、表し方を工夫して表している。	画用紙、色画用紙、色紙、布、毛糸、包装紙、のり、接着剤、はさみなど	
				技 材料を切って並べる、重ねるなど表し方を工夫して表している。	技			
				思 いろいろな材料の形や色、組み合わせから表したいことを考える。	発 いろいろな材料の形や色、質感などの違いやよさから表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。			鑑 材料の形や色、その組み合わせや構成のよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
				学 貼り絵に表すことをたのしむ。	主 材料の形や色の組み合わせや配置のよさや美しさを味わい、貼り絵に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。			
紙バックでバックパク	工	4	四角い筒に棒材をつけた動く仕組みの動きを生かし、動くおもちゃをつくる。	☆知 仕組みを生かして、飾りや動かし方を工夫する。	知 四角い筒と棒材を使った動く仕組みを動かす操作を通して、形や色などの感じがわかっている。	四角い筒と棒材を使った動く仕組みを動かす操作を通して、形や色などの感じがわかるとともに、テープや接着剤を適切に扱い、仕組みの動きを確かめながら、動きに合わせて色紙の形や色、取り付け方を工夫してつくっている。	紙バック、割り箸、色画用紙、接着剤、セロハンテープ、ビニルテープ、カラーペン、はさみなど	
				技 テープや接着剤などを適切に扱い、動きに合わせて色紙の形や色、取り付け方を工夫して表している。	技			
				発 仕組みの動きから表したいことを思いつき、どのように表すか考えている。	発			

■第4学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性があります。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
				心は粗かならなから、細かくつなげる。	鑑 互いの作品で遊びながら、造形的なよさや面白さについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。		
				学 動かすと面白いおもちゃをつくることをたのしむ。	主 動く仕組みを生かしたおもちゃをつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。		
むすんでつないで	遊	2	身近な場所に枝を結び付けたりひっかけたりして、思いついた活動をする。	知 枝の結び方やつなぎ方を工夫する。	知 身近な場所を使って枝をつなげ、思いついたことをする活動を通して、形や色などの感じがわかっている。	身近な場所を使って枝をつないでできた感じから思いついた始めのイメージを、場所と枝の組み合わせや枝のつなぎ方の工夫から、さらにイメージを発展させながら活動を考えている。	木の枝、麻ひも、ビニタイ、小刀など
				技	技 身近な場所を使って枝を結んだりひっかけたりつなげたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。		
				☆ 思	発 枝と枝をつなげることでできる場所の変化をもとに活動を思いつき、どのように活動するか考えている。		
				鑑	鑑 造形的なよさやいろいろな表し方について感じ取ったり考えたりして、自分の見方や考え方を広げている。		
				学	主 枝を結んだりつないだりして、場所が変化することをたのしむ。		
木々を見つめて	絵	4	木を見たり触ったりして、表したい木を見つけ、絵に表す。	知 木の描き方や色づくりを工夫する。	知 身近にある木々を見たり触れたりすることから木々の形や色、それらの組み合わせによる感じがわかっている。	身近にある木々の形や色、触れた感じなどをもとに、自分のイメージを豊かに広げ、表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。	絵の具、クレヨン、パス、カラーペン、鉛筆、色鉛筆、画用紙など
				技	技 色づくりや混色、筆使いなど、さまざまに試しながら、自分の思いや表したいことに合わせて、表し方を工夫して表している。		
				☆ 思	発 身近にある木々の形や色、触れた感じなどをもとに自分のイメージをもちながら、表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。		
				鑑	鑑 自分や友達の作品のよさや面白さ、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。		
				学	主 お気に入りの木を描くことをたのしむ。		
				知 作品のよさ 形や色の丁寧な気づく	知 身近な美術作品を鑑賞することを通して、形や色などの感じがわかっている。	形や色などの感じをもとに、自分のイメージを豊かにもち、身近な美術作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	作品など

■第4学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性があります。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
自然の色 どんな色	鑑	2	自然が描かれた作家の絵を見て、形や色から感じ取ったことについて対話する。	作品の形や色から感じ取ったことについて考える。	技 発	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
				作品の形や色から感じ取ったことについて考える。	身近な美術作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。		
				互いの見方や感じ方のよさや違いを味わう。	主 つくりだす喜びを味わい、自然が描かれた美術作品を鑑賞する学習活動に進んで取り組もうとしている。		
つないで組んで すてきな形	工	4	紙バンドを組み合わせて、使ったり飾ったりするものをつくる。	紙バンドの組み合わせ方やつなぎ方を工夫する。	知 技	紙バンドを触ったり加工したりする行為を通して、紙バンドの手触りや特徴、色などの感じがわかるとともに、紙バンドでいろいろな加工を試し、ホチキスを適切に扱い、紙バンドの特徴を生かして加工し、組み合わせ方やつなぎ方を自分なりに工夫して表している。	紙バンド、ホチキス、はさみなど
				飾ったり使ったりするものを考える。	発 鑑		
				飾ることや使うことを思い浮かべてたのしくつくる。	主 鑑		
				紙バンドの組み合わせ方やつなぎ方を工夫して表している。	知 技		
お気に入りの形	立	2	粘土の形を変えながら、気に入った形を見つけて写真を撮ったり、つくり変えたりすることを繰り返し、立体に表す。	粘土を触ってできる形を工夫する。	知 技	粘土をさまざまな触り方をし、粘土のよさを十分に味わい、何度もつくり変えながらお気に入りの形を探す学習活動に進んで取り組もうとしている。	土粘土、粘土板、タオル、カメラ、タブレット端末など
				気に入った形をたくさん見つける。	発 鑑		
				自分がお気に入りだと感じる形のイメージをもちながら、さまざまな触り方や形を見つけ、どのように表すか考えている。	知 技		
				友達からよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	発 鑑		

■第4学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性があります。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて		観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
				☆学	主			
ちかごろむちゅうです	絵	4	身近にあるたのしみを絵に表し、伝え合う。	☆学	粘土の感触を味わいながら、つくり変えることをたのしむ。	主	粘土のよさを味わい、何度もつくり変えながらお気に入りの形を探す学習活動に進んで取り組もうとしている。	身近な出来事を描くことを通して、形や色などの感じがわかるとともに、これまでの描画材料の特性を生かして、伝えたいことに合わせて組み合わせたり、使い方を工夫したりして表し方を工夫している。 絵の具、クレヨン、パス、カラーペン、鉛筆、色鉛筆、画用紙など
				☆知	夢中になっている様子が伝わるように表し方を工夫する。	知	身近な出来事を描くことを通して、形や色などの感じがわかっている。	
				技		技	これまでの描画材料の経験を生かして、伝えたいことに合わせて表し方を工夫している。	
				発		発	生活の中から絵に表したい場面を見つけて形や色などを生かしながら、どのように表すか考えている。	
			思	生活の中から表したい場面を考える。	鑑	自分や友達の表したいことやいろいろな表し方を感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。		
			学	自分が夢中になっていることを絵に表すことをたのしむ。	主	身近にあるたのしみを絵に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。		
小さくなって遊びにいこう	絵	4	小さくなって身のまわりのもので遊ぶ様子を想像して絵に表す。	☆知	身のまわりのもので遊んでいる様子が伝わるように表し方を工夫する。	知	身のまわりのものを見たり、それに触れたりしながら、形や色などの感じがわかっている。	身のまわりのものを見たり、それに触れたりしながら、形や色などの感じがわかるとともに、描画材料や方法をいろいろ試して、身のまわりのもので遊んでいる様子が伝わるように表し方を工夫している。 絵の具、クレヨン、パス、カラーペン、鉛筆、色鉛筆、画用紙など
				技		技	表したい様子が伝わるように、表し方を工夫している。	
				発		発	小さくなった自分が身のまわりのもので遊ぶ様子を想像し、表したいことを思いつき、どのように表すか考えている。	
				思	身のまわりのものの形や色などから遊びを考える。	鑑	友達のアイデアや表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	
			学	身のまわりのもので遊ぶ様子を絵に表すことをたのしむ。	主	身のまわりのものを見たり、それに触れたりしながら、身のまわりのもので遊ぶ様子を想像して絵に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。		
ドスドスカッチン	立	4	布を液体粘土で固めた形を生かして、立	知	固めた布の形から思いついたものの表し方を工夫する。	知	材料で型を組んだり布や芯材に触れたりしながら、形などの感じがわかっている。	固まった布の形から、自分のイメージを広げ、表したい世界やものなどを思いつき、いろいろな角度から見たりしながら、形や材料などを生かしてどのように表すか考えている。 布、液体粘土、身近な材料、接着剤、絵の具、ペットボトル、プラスチックカップ、ビニル袋、トレイ、タオルなど
				技		技	布や液体粘土の特性を生かして、布の形や固め方を工夫して表している。	
				発		発	固まった布の形から自分のイメージを広げ、表したい世界やものなど	

■第4学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性があります。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具	
しんぶん	しんぶん	しんぶん	体に表す。	☆ 思 固めた布の形から表したいことを考える。	知 しんぶんを思いつき、どのように表すか考えている。			
				鑑 いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。				
				学 固めた布の形から思いつくことをたのしむ。	主 液体粘土の感触を味わい、固めた布から思いついたものをつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。			
直線と曲線から生まれる形	立	4	割り箸と竹ひごを組み合わせて、紙を貼って、思いついたものを立体に表す。	知 割り箸と竹ひごの組み合わせを工夫する。	知 割り箸と竹ひごを組み合わせることを通して、線と面の形などの感じがわかっている。	材料をつなげて立体をつくることから発想豊かに表したいことを見つけ、線と面の組み合わせによる形を生かしながらどのように表すか考えている。	割り箸、竹ひご、輪ゴム、モール、キッチンペーパー、洗濯のり、絵の具、トレイなど	
				技 思いついたことに合わせて、つなげる、貼る、色を塗るなど、表し方を工夫して表している。	技 思いついたことに合わせて、つなげる、貼る、色を塗るなど、表し方を工夫して表している。			
				☆ 思 線と面を生かした形を考える。	発 材料をつなげて立体をつくることから表したいことを見つけ、線と面の形を生かしながらどのように表すか考えている。			発 材料をつなげて立体をつくることから表したいことを見つけ、線と面の形を生かしながらどのように表すか考えている。
				鑑 線と面を組み合わせた構成と形、色のよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	鑑 線と面を組み合わせた構成と形、色のよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。			
学 線と面を組み合わせて表すことをたのしむ。	主 線と面の組み合わせや形や色のよさを味わい、割り箸と竹ひごで組み合わせる学習活動に進んで取り組もうとしている。	主 線と面の組み合わせや形や色のよさを味わい、割り箸と竹ひごで組み合わせる学習活動に進んで取り組もうとしている。						
わくわくランドで遊ぼう	遊	2	身近な場所を生かしての楽しい遊び場をつくる活動をする。	知 身近な場所を生かした活動を工夫する。	知 活動を通して、活動場所にある自然のものの形や色の感じがわかっている。	場所の特徴を生かして、自分のイメージをもったり友達とイメージを共有したりして、次々に活動を思いついたり、豊かに変化させたりしながら、どのように活動するか考えている。	段ボール、身近な材料や用具、布粘着テープ、養生テープなど	
				技 見たり、触れたり、動いたりしながら、広さや起伏など活動する場所の特徴や、身近な材料と組み合わせる感じを生かして活動を工夫してつくっている。	技 見たり、触れたり、動いたりしながら、広さや起伏など活動する場所の特徴や、身近な材料と組み合わせる感じを生かして活動を工夫してつくっている。			
				☆ 思 学校にある場所や自然の材料を生かして、たのしく遊べるしなげを考える。	発 場所の特徴を生かして、自分のイメージをもったり友達とイメージを共有したりして活動を思いつき、どのように活動するか考えている。			発 場所の特徴を生かして、自分のイメージをもったり友達とイメージを共有したりして活動を思いつき、どのように活動するか考えている。
				鑑 アトラクションを互いに見せ合ったり遊んだりして、よさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	鑑 アトラクションを互いに見せ合ったり遊んだりして、よさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。			
学 友達と協力してのしく活動する。	主 友達と協力して、身近な場所や自然材料を生かしてつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。	主 友達と協力して、身近な場所や自然材料を生かしてつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。						
				知 紙粘土に絵の具を混ぜてつくるカラフル粘土	知 紙粘土に絵の具を混ぜてカラフル粘土をつくり、マスコットを表すことを通して、形や色などの感じがわかっている。	学校を盛り上げるマスコットをつくることに意欲的に取り組み、その場所にふさわしい形や色を工夫して表すとともに、校内のさまざまな場所に飾って見せ合い、伝え合う学習活動に進んで取り組もうとしている。	紙粘土、絵の具など	

■第4学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性があります。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
学校もりあげますコット	工	4	学校生活を応援してくれたり手伝ってくれたりするマスコットをカラフル紙粘土で立体的につくる。	で、形や色を工夫する。	技 表したいマスコットに合わせて、紙粘土の形や色を工夫して表している。		
				その場所にふさわしい形や色のマスコットを考える。	発 学校の場所やもの、学校生活での経験などからイメージを広げ、表したいものを思いつき、どのように表すか考えている。		
				マスコットをつくり見せ合ったりして、伝え合うことをたのしむ。	主 マスコットをつくり飾って見せ合ったりして伝え合う学習活動に進んで取り組もうとしている。		
本を開くとお気に入りの場面	工	4	本のお気に入りの場面を段ボールと軽量紙粘土などでつくり、みんなで伝え合っただのしむ。	伝えたい場面に合わせて、つくり方を工夫する。	知 お気に入りの場面を表すことを通して、形や色、材料やその組み合わせなどの感じがわかっている。	表したい感じを表すために進んで材料や用具を工夫して、お話のよさを友達に伝え合う学習活動に進んで取り組もうとしている。	紙粘土、身近な材料や用具、段ボール、接着剤、絵の具、はさみ、カッターナイフ、カッターマット、粘土板、タオルなど
				お気に入りの場面をどのように表すか考える。	技 表したい場面に合わせて、形や色、紙粘土や段ボールなどの使い方やつくり方などを工夫して表している。		
				お気に入りの場面を伝え合うことをたのしむ。	主 お気に入りの場面を表し、伝え合う学習活動に進んで取り組もうとしている。		
飛び出すハッピーカード	工	4	友達や家族に伝える飛び出すカードをつくり、気持ちを伝える。	飛び出す仕組みを生かして、表し方を工夫する。	知 飛び出す仕組みのカードをつくる活動を通して、紙の特徴から形や色などの感じがわかっている。	相手のことを考えてカードに表したり、友達と交流しながら思いを伝え合ったりすることで自分の思いをより深める学習活動に進んで取り組もうとしている。	カラーペン、色画用紙、画用紙、接着剤、はさみ、カッターナイフ、カッターマットなど
				贈る相手を思い浮かべて、伝えたいことを考える。	技 飛び出す仕組みを生かし、表したいカードに合わせて形や色や組み合わせ方を工夫して表している。		
				贈る相手を思い浮かべて、伝えたいことを考える。	主 贈る相手のことを思い浮かべて表したいことを思いつき、形や色、仕組みを生かして、どのようにカードに表すか考えている。		
					鑑 互いのカードの工夫やよさに気づき、自分の見方や感じ方を広げている。		

■第4学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性があります。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて		観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具	
				☆学	主				
ほった線からはじまるお話	絵・版	4	はじめに版木に彫刻刀で彫った線から広げたイメージを木版画に表す。	☆学	カードをつくったり渡したりすることをたのしむ。	主	つくったカードで気持ちを伝える学習活動に進んで取り組もうとしている。	彫ったり刷ったりすることを通して、インクのつけ方などの違いやよさを十分に理解し、彫刻刀を適切に扱い、表したいことに合わせて彫刻刀の種類や彫り方や刷り方などを試しながら工夫して表している。	版画インク、版画用紙、版木、彫刻刀、版画用具、滑り止め、新聞紙など
				☆知	彫刻刀の使い方に慣れ、彫り方や刷り方を工夫する。	知	彫ったり刷ったりすることを通して、形や色などの感じがわかっている。		
				技		技	彫刻刀を適切に扱い、表したいことに合わせて彫り方や刷り方などを試しながら工夫して表している。		
				発		発	彫りでできる形や刷りの色などから自分のイメージをもち、表したい話を思いつき、どのように表すか考えている。		
				思	彫ってできた線の感じから想像を広げ、表したいことを考える。	鑑	材料の形や色、その組み合わせや構成のよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。		
				学	彫刻刀で彫って、紙に刷ることをたのしむ。	主	版を彫刻刀で彫ったり、インクをつけて刷ったりする学習活動に進んで取り組もうとしている。		
紙の箱だいへんしん	工	2	切ったり、組み合わせたりして紙の箱を変身させ、表したいものを考えて飾りをつくる。	知	箱の切り方や組み合わせ方を工夫する。	知	紙の箱を切ったり組み合わせたりすることを通して、形や色などの感じがわかっている。	紙の箱を切ったり折ったり開いたりする活動を通して表したいことを見つけ、自分の表現を試行錯誤しながら振り返り、より自分らしくするためにどのように表すか考えている。	空き箱、画用紙、色画用紙、接着剤、両面テープ、カッターナイフ、カッターマット、はさみ、洗濯ばさみなど
				技		技	紙の箱の形や色、その組み合わせを、表したいことに合わせて工夫して表している。		
				☆思	切った箱の形や組み合わせた形から、つくりたい飾りを考える。	発	紙の箱を切ったり折ったりして形を変えながら表したいことを見つけ、形や色、材料などを生かしてどのように表すか考えている。		
				鑑		鑑	自分や友達の作品やその表現の過程などにおいて、造形的なよさや面白さ、表したいこと、表現の工夫などを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。		
				学	箱を切って組み合わせることをたのしむ。	主	紙の箱を切って組み合わせる表現したり、作品を鑑賞したりする学習活動に進んで取り組もうとしている。		
へんてこ山の物語	絵	4	「へんてこ山」の形から想像してお話を	知	表したいことに合わせて、描く材料を選び、形や色を工夫する。	知	「へんてこ山」を描くことを通して、形や色などの感じがわかっている。	「へんてこ山」の形から豊かに想像を広げて、表したいことを思いつき、お話を描画材料を選んだり筆使いを工夫したりして、どのように表すか考えている。	絵の具、クレヨン、パス、カラーペン、鉛筆、色鉛筆、画用紙など
				技		技	描画材料を選んだり筆使いを工夫したりして、自分が考えた「へんてこ山」を工夫して表している。		
				発		発	へんてこな形から表したいことを思いつき、どのように表すか考えて		

■第4学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性があります。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
へんてこ山	山	7	考えながら、絵に表す。	☆ 思 思いついたへんてこな形からお話を考える。	知 いる。 自分や友達の「へんてこ山」のよさやおもしろさ、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。		
				学 へんてこ山を描くことをたのしむ。	主 描く喜びを味わい、想像の世界を絵に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。		
カクカク板を組み合わせたら	工	4	のこぎりで切った板を組み合わせ、使ったのしいものをつくる。	☆ 知 板の組み合わせを工夫する。	知 のこぎりでいろいろな形に板を切ったり、切った板を組み合わせたりにして、形や色、組み合わせの感じがわかっている。	のこぎりでいろいろな形に板を切ったり、切った板を組み合わせたりにして、形や色、組み合わせの感じがわかるとともに、のこぎりで切ってきた形から、飾り方や用途などに合わせて表したいことを思いつき、組み合わせた形やその使い方を工夫している。	板材、角材、接着剤、絵の具、紙やすり、のこぎり、クランプなど
				技 板を切ったり補助的な材料を組み合わせたりにしながら、組み合わせた形やその使い方を工夫して表している。	技 板を切ったり補助的な材料を組み合わせたりにしながら、組み合わせた形やその使い方を工夫して表している。		
				思 組み合わせた形からつくりたいものを考える。	発 切った板の形や組み合わせからイメージを広げ、つくりたいものを思いつき、どのように表すか考えている。		
				鑑 自分や友達の作品のよさや面白さ、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	鑑 自分や友達の作品のよさや面白さ、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。		
学 板の組み合わせから、新しい形が生まれることをたのしむ。	主 板をさまざまな形に切り分けて自分のつくりたいものをつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。	主 板をさまざまな形に切り分けて自分のつくりたいものをつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。					
みんなでのしいだんボールランド	遊	2	段ボールと場所をもとに、友達と協力して活動をする。	知 段ボールの切り方や組み合わせ方を工夫する。	知 段ボールを切ったりつないだりして、形や色の感じがわかっている。	つくりだす喜びを味わい、自他のイメージを共有して友達と協力しながら段ボールと場所をもとに表す学習活動に進んで取り組もうとしている。	段ボール、布粘着テープ、段ボールカッター、はさみなど
				技 段ボールや段ボールカッターを適切に扱い、段ボールを組み合わせたりに、切ってつないだり、形を変えたりするなど、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。	技 段ボールや段ボールカッターを適切に扱い、段ボールを組み合わせたりに、切ってつないだり、形を変えたりするなど、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。		
				思 どんだんボールランドをつくるか考える。	発 段ボールや広い場所などをもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するか考えている。		
				鑑 自分や友達の活動の造形的なよさや面白さについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。	鑑 自分や友達の活動の造形的なよさや面白さについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。		
☆ 学 友達と力を合わせて段ボールで活動することをたのしむ。	主 つくりだす喜びを味わい、友達と協力しながら段ボールと場所をもとに表す学習活動に進んで取り組もうとしている。	主 つくりだす喜びを味わい、友達と協力しながら段ボールと場所をもとに表す学習活動に進んで取り組もうとしている。					
				知 ランプの材料や色の組み合わせを工夫する	知 光を通す材料の形や色の組み合わせ方を試すことを通して、材料の形や色の感じがわかっている。	材料を透過する光のよさや影の形の面白さなどを十分に味わいながら、ランプをつくり、友達と協力してランプを飾る学習活動に進んで取り組もうとしている。	透明容器、光を通す材料、万能ばさみ、接着剤、LEDライト、段ボール箱、カッターナ

